

## <学習指導部会 特別支援チーム>

### 【児童生徒の実態】

- ・見通しを持つことが苦手で、不安をもちやすい児童生徒が多い。
- ・障害の特性や個々の差は大きいですが、書くこと、話すこと(発表・会話)の表現することやコミュニケーションについての課題のある児童生徒が多い。

### 【部会のねらい】

○小中間の連続性のある教育活動の確保を図り、児童生徒一人一人のもてる力を高めることで、児童生徒の自立や社会参画に向けた主体的な態度を養うことができる。

- ・児童生徒の表現力やコミュニケーション力を高めることができる。
- ・児童生徒が、他者理解や自己の成長に気付き、将来に対するイメージをもつことができる。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	<B> 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

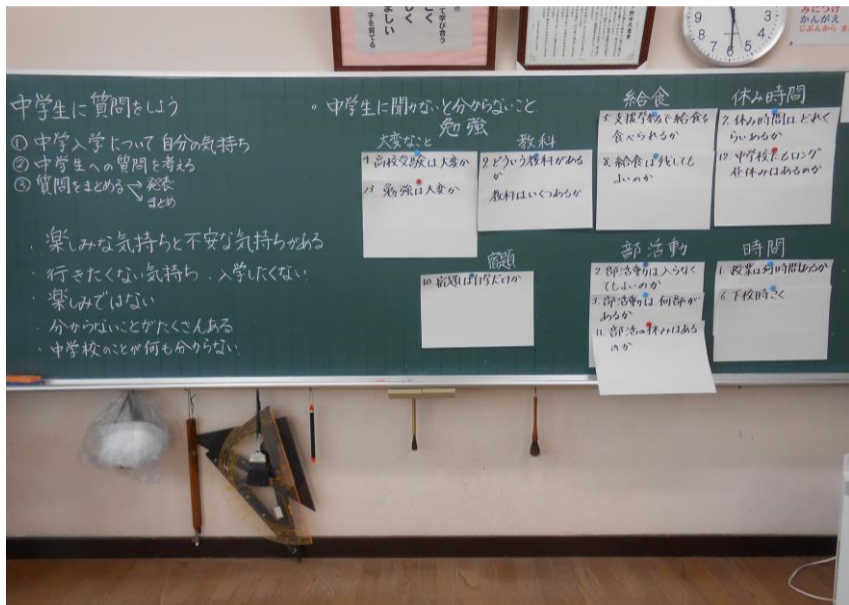
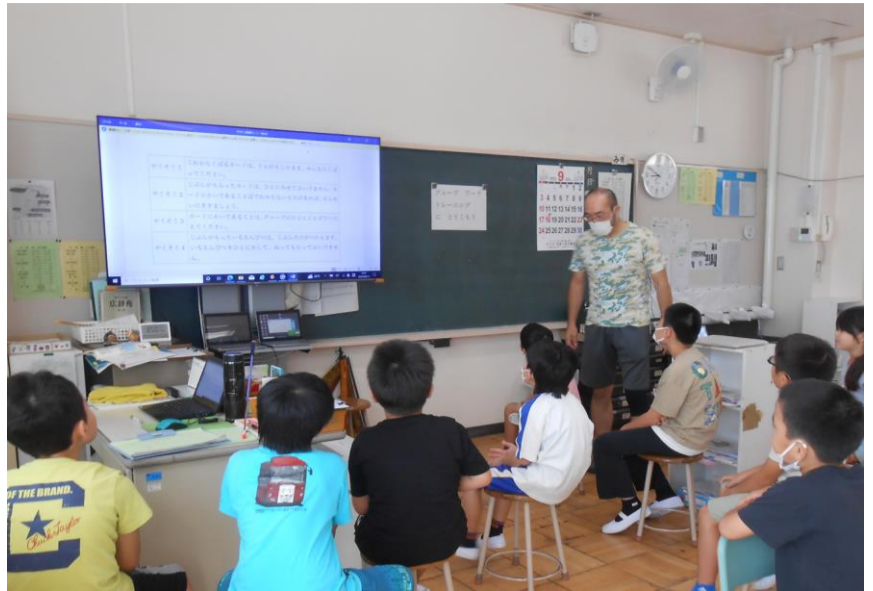
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の教職員間(小⇄中、小⇄小)の情報交換や学校と保護者間における情報共有を行う。</li> <li>・他者理解や自己の成長に気が付かせ、将来に対するイメージの獲得に繋がるような児童生徒の交流活動を行う。</li> <li>・表現力やコミュニケーション力を高める指導の工夫とプログラムの共有や情報交換を行う。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活について英語で質疑応答をすることができた。その中で自分の感想や気持ちを相手に伝えることができた。</li> <li>・授業や休み時間に、家庭のことや本人の趣味等について質問に答え話ができるようになってきた。</li> <li>・毎日の日程や日々の生活について担任からの質問を聞いて応えることができた。逆に、生徒から担任に質問や提案・要望などもきちんと伝えられた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことは話したが、級友の話はあまり聞こうとしない自己中心的な思考になってしまう。級友の話聞き関心を持たせていく必要がある。</li> <li>・自分の気持ちを言葉で伝えることが苦手で、嫌なことがあるときれたり癩癩を起こしてしまう。困ったことや嫌なことを言葉で伝えていく経験をさせていく必要がある。</li> <li>・自己肯定感が低く悲観的になりがちで、新しく良い関係を作っていくことが難しい。成功体験を増やしながら自己肯定感を高めていく必要がある。</li> </ul>



6年生児童と保護者の中学校授業参観



中学校特別支援学級担任による6年保護者説明



表現力・コミュニケーション力をテーマにした自立活動の研究授業  
 「情報を整理し、自分の思いや考えを表現しよう『服は何色？編』」  
 (国小 知的学級)  
 「中学校入学に向けて『中学生に質問をしよう』」(国小 自・情学級)  
 「身の回りのことを 五七五で表そう」(国東小 自・情学級)

